

ママ、ありがとう

たまよし
玉吉 秀羽

きょうは、「ははの日」です。ママはまだねています。ほくは、サブライズで「たまごやき」をつくることにしました。たまごを二つわって、おはしでよくかきまぜて、じゅんぴかんりょう。フライパンをだして、あぶらをすこしいれましました。いよいよやきます。ドキドキしながら、コンロのガスをつけました。ほんとうは、子どもだけでガスはつかってはいけないっていわれているけど…。

「ジュワー。」
と、いきおいよく音をたてて、フライパンの中でたまごがどつています。とてもいいにおいがします。ママのまねをして、フライがえしでたまごやきをひっくりかえしました。「できた、できた。きつとママはびっくりするだろうなあ。」
ほくは、ママのよろこぶかおをそうぞうしながら、おさらになたまごやきをのせました。そして、ケチャップでママのかおをかきました。

ママをおこしました。
「ママ、ははの日おめでとう。ママにプレゼントだよ。」
「しゅうちゃんがつくったの？」
「じょうずにできたでしょ。ママのまねをしてみたかった

んだ。」

「おいしい、おいしい。せかい一おいしいたまごやきだよ。ありがとう、ほんとうにありがとう。」
ママは、ほんとうにうれしそうでした。

「ママ、いつもありがとう。ほく、これからは、日よう日はママのまねをして、あさごはんをつくるね。だから、ママはゆっくりねていいからね。」

ママの目が、なみだでひかっています。ほくも、なんだかむねがじーんとあつくまりました。

なつやすみ、ほくは、ママにあたらしいフライパンをかってもらいました。ママのフライパンのはんぶんくらい小さなフライパンです。

きょうのあさごはんは、チーズいりとかせいたまごやきです。小さなフライパンから、たまごといっしょにいっぱいの「ありがとう」のきもちがあふれています。

「ママ、いつもありがとう。だいすきだよ。」
「きょうも、おいしいたまごやきをつくってくれてありがとう。」

あさから、「ありがとう」がいっぱいひびきます。